

かんたん収支把握メソッド

ファイナンシャル・プランナー 福島えみ子

日差しがキラキラ目にまぶしい今日この頃。4月から新生活のスタートをきった方もすっかり新しい暮らしになじまれたのではないのでしょうか？

生活が変わるとお金の使い途や流れも変わるもの。4月以降、何かとバタバタしていてそのままになっていた自分のお金の収支、この時期にあらためて見直してみませんか？

■かんたん把握のツールとは？

そうはいっても家計簿を買って4月からのレシートを引っ張りだしてきてというのでは、始めるのも億劫だし、だいいちこれから続けられるかどうかもわかりませんよね。そもそも家計簿をつける目的とは、1カ月のお金の出入りを把握して、バランスよくムダのない使い方をしているか、もっと改善できる点はないかを知ること。そうであればその目的さえ達成できればよいわけで、数円にこだわって時間を費やすことこそまさにムダと言わざるを得ません。

そこで、時間をなるべくムダにせずじっくり収支を把握するコツについて今回はご紹介したいと思います。”時間をムダにせず＝手間も費用も省く方法”ですから、誰でも持っているもの、預金通帳やそれに類するものをそのまま使用します。(銀行または口座によって通帳でなくステートメント(取引明細)またはパソコン・携帯の画面上で取引明細が表示されるものになっていれば、それをご使用ください。)次に、クレジットカードをお持ちの方はその明細書もご用意ください。

■通帳は語る！？

通帳こそは実は結構その人の生活が垣間見られる、考えようによってはちょっとこわいアイテムなのです。私が卒業後銀行の窓口で働き始めたころ、まず教えてもらったのがこの“通帳の読み方”です。窓口には資産運用の相談に来られる方ばかりではなく住所変更等単なるお手続きでお越しになる方もいらっしゃいますが、ど

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

のようなご用件であってもお客様のお通帳をジロジロ凝視するのは失礼にすぎますし、お待ちのお客様も多いのでそれほど時間をかけてもいられません。通帳に目を落とすのは時間にして数秒、ざっと上から下までスキャンする程度。その数秒でどんなご提案をすればお客様に喜んでいただけるか判断するわけですが、同じ ATM から時間外の引き出しが多い方なら残業が多い方なのかなとか、定期預金にマメにまとめて振替があるので貯蓄をがんばっておられるのだなとか、お給料日前にはわりと残高ぎりぎりになることが多いかな等々、意外に短時間で色々な情報が得られたり推測したりできるものなのです。

話が少しそれてしまいましたが、要は通帳というものは、それほど如実にお金の流れや生活スタイルをも語るというわけです。それなら反対に、これをもっと便利に使わない手はないですよ。そう、通帳を上手に利用して家計簿代わりに使おうというわけです。くわえて、クレジットカードをなるべく使ってポイントやマイルをためている人なら、カードの利用明細とペアで使えばより詳しい使い途もかんたんに把握できてしまいます。

■ではどのように使えば？

通帳をこのように家計簿代わりに使うコツのひとつは、自動引落としにできるものはなるべく自動引落としにしてしまうことです。すると引落とし先が印字されるので把握もかんたんです。(またはカード支払いできる公共料金なら、なるべくカード支払いにしてしまう。)そして、相手先が記入されない振替や現金で引き出した場合の主な使途は、簡単にでも構わないので忘れないうちに通帳へ直接メモ書きしておくのがおすすめです。

一番大切な事は、お金の流れをなるべくひとつの通帳で一元管理することです。給与や他の収入の振込みもあらゆる支払いも、ひとつの口座にまとめられるだけまとめてしまうのです。投資目的で他の証券会社やネット銀行を利用する場合も、基本の口座1本を起点にしてこれらへの出入りを行います。

そのうえで、入金と出金の区別、公共料金、クレジットカード引落としなどの費目別にマーカーで通帳に直接色分けしておくのと、ざっと集計するときにも色別に集計すればいいだけですし、一目でどのような費目が多いのかもわかるので、さらにお

金の流れを把握する効率がアップするでしょう。クレジットカードの明細も同様です。

また、パソコンや携帯をたびたびチェックするのが苦にならない方なら、今はパソコンや携帯で口座の取引明細等を管理できる便利な銀行のサービスがあります。パソコンや携帯で収支が管理できるだけでなく、月次集計や残高推移のグラフ化までできる等いたれりつくせり。携帯なら移動時間やちょっとした待ち時間でお金の管理もできるのでさらに使い勝手はアップしそうですね。通常の銀行口座でもネットバンキングやモバイルバンキング契約をすれば、データを CSV 形式で取り出せるので Excel で管理したりすることもできます。

■ここからが大切。チェック&プラン！

さて、自分のお金の使い方の傾向、収支やお金の流れを知ることができたら、今度は徹底的にムダがないかチェックしてみましよう。これがお金の流れを把握する本当の目的です。例えば、通信費を使いすぎる傾向にあったり、今ではあまり通っていないスポーツクラブ会費が自動引落しになっていたりなら、自分にとって本当に必要なか再考してみる余地がありそうです。

ムダを省いたら、今度はもっと貯めるにはどうしたらよいか、攻めのプランも検討してみましよう。月末にあまり残高が残らないタイプなら、お給料日に自動引落される積立定期もよいですし、通帳の残高が増えることに目標と喜びを感じるタイプなら、予め決めた金額が貯まるたびもっと高利回りの金融商品に移すルールをつくるのもよいでしょう。

かんたんに自分の収支やお金の流れを把握することで浮いた時間を使って、自分のお金の流れやライフプランに沿った貯蓄計画を考え、かしこくお金の管理、始めませんか？